

報告第20号

専決処分したものの報告について

市長に委任する専決処分事項の指定について(平成28年12月27日議決)の規定により、下記の事項について別紙のとおり専決処分したから、地方自治法(昭和22年法律第67号)第180条第2項の規定により報告する。

令和元年11月29日提出

豊岡市長 中 貝 宗 治

記

- 1 損害賠償の額を定めることについて
- 2 損害賠償の額を定めることについて
- 3 損害賠償の額を定めることについて

報告第 21 号

株式会社北前館第 28 期の決算及び第 29 期の事業計画に関する書類に
ついて

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 243 条の 3 第 2 項の規定により、別紙の
とおり報告する。

令和元年 11 月 29 日提出

豊岡市長 中 貝 宗 治

決算等の状況の報告

株式会社 北 前 館

株式会社北前館第 28 期事業報告

1 事業の概要と成果

レストラン部門を直営から委託に切り替えて初めての通期となり、経営改善を図ることができました。

温泉部門では、営業時間を開始、終了とも1時間ずつ短縮させていただきましたので利用者の皆様にはご不便もあったと思いますが、売り上げは前年に比べ僅かではありますが168千円増加し19,310千円となりました。水道光熱水費の削減にも寄与したと考えております。

特産品部門では、レイアウトの変更などでお客様が買い易いよう対応を図って参りましたが前年を大きく割り込む8,799千円の売り上げに止まりました。

ジオカヌーや駐車場部門では、梅雨明けが遅かったことや台風の影響を受けることが多かったため売り上げが前年に比べ減少し、ジオカヌーで4,841千円、駐車場部門では8,120千円となり、総売上高は53,215千円、経常利益は4,792千円となりました。

また、近年は海水浴場の浜茶屋が減少傾向にあり、たけの観光協会から要望のありました浜茶屋の代替機能の充実につきましては夏期にコインロッカーを設置し利用者の動向を調査しましたところ、まずまずのご利用を頂きました。

今後とも経営改善及び利用者の利便性向上に努めて参りますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、第28期の営業報告とさせていただきます。

2 売上状況

(単位：千円)

部 門	温 泉	特産品店	業務受託	駐車場	ジカヌー	その他	合 計
売上高	19,310	8,799	9,328	8,120	4,841	2,817	53,215

3 営業成績及び財産状況の推移

(単位：千円、一株当たり当期利益のみ円)

区 分	第 24 期 平成 27 年 9 月	第 25 期 平成 28 年 9 月	第 26 期 平成 29 年 9 月	第 27 期 平成 30 年 9 月	第 28 期 令和元年 9 月
売 上 高	98,171	99,520	90,634	65,996	53,215
経 常 利 益	1,319	4,178	△2,616	158	4,792
当 期 利 益	1,111	4,005	△2,815	△3,293	4,586
一株当たり当期利益	2,222	8,010	△5,630	△6,587	9,172
総 資 産	35,477	31,301	23,220	32,539	31,468
純 資 産	△24,014	△20,009	△22,824	△26,118	△21,532

4 会社概要

- (1) 商 号 株式会社北前館
- (2) 本 店 兵庫県豊岡市竹野町竹野 50 番地の 12
- (3) 成立年月日 平成 3 年 10 月 7 日
- (4) 事 業
- ア 温泉浴場施設の管理運営に関する事業
 - イ 特産品の開発及び加工並びに販売に関する事業
 - ウ 公共施設の維持管理に関する事業
 - エ 駐車場の管理運営に関する事業
 - オ 飲食物、日用品等の販売に関する事業
 - カ 温泉の配湯に関する事業
 - キ 公共的団体の事務局に関する事業
 - ク 山陰海岸ジオパークのガイドに関する事業
 - ケ 前各号に付帯又は関連する一切の事業
- (5) 発行株式
- ア 発行済株式の総数 500 株
 - イ 発行価格 1 株当たり 50,000 円
 - ウ 当期末株主数 128 人
- (6) 資本金の額 2,500 万円

5 社 員

(単位：人)

区 分	社 員	パート・アルバイト	合 計
前期末 平成30年9月30日	3	3	6
当期末 令和元年9月30日	3	3	6
増 減	0	0	0

6 取締役及び監査役

役 職 名	氏 名	備 考
代表取締役	太田垣 健 作	
取 締 役	宮 嶋 俊 夫	
取 締 役	岩 井 美 晴	
取 締 役	藤 原 誠	
取 締 役	濱 松 淳	
取 締 役	米 田 達 也	
監 査 役	太田垣 征 司	
監 査 役	瀧 下 貴 也	

決 算 報 告 書

第 28 期

自 平成 30 年 10 月 1 日

至 令和 元年 9 月 30 日

株式会社 北前館
兵庫県豊岡市竹野町竹野 50 番地の 12

貸借対照表

株式会社 北前館

令和元年9月30日現在

科 目	金 額	科 目	金 額
			円
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	(26,179,407)	流動負債	(18,016,223)
現金・預金	24,670,787	買掛金	152,279
売掛金	459,580	短期借入金	8,000,000
棚卸資産	863,186	1年以内返済長期借入金	3,360,000
前払費用	156,741	未払金	3,305,104
仮払金	30,113	リース未払金	2,198,556
貸倒引当金	△1,000	未払法人税等	211,000
		未払消費税等	730,500
		預り金	58,784
固定資産	(5,288,622)	固定負債	(34,984,000)
有形固定資産	(3,771,806)	長期借入金	34,984,000
建物	1,439,694	負債の部計	53,000,223
構築物	34,127		
工具・器具・備品	99,427	(純資産の部)	
車両運搬具	2	株主資本	(△21,532,194)
リース資産	2,198,556	資本金	25,000,000
無形固定資産	(638,426)	利益剰余金	(△46,532,194)
ソフトウェア	638,426	利益準備金	800,000
投資その他資産	(878,390)	その他利益剰余金	(△47,332,194)
出資金	13,000	繰越利益剰余金	△47,332,194
長期前払費用	865,390	(うち当期純利益)	(4,586,311)
		純資産の部計	△21,532,194
資産の部計	31,468,029	負債・純資産の部計	31,468,029

損 益 計 算 書

株式会社 北前館

自 平成 30 年 10 月 1 日
至 令和 元年 9 月 30 日

科 目	金 額	
		円
【売 上 高】		53,215,695
温泉浴場売上高	19,309,725	
特産品店売上高	8,799,227	
受託料	9,328,000	
駐車場整理料	8,120,100	
ジオカヌー利用料	4,841,548	
レストラン売上高	1,056,862	
その他	1,760,233	
【売上原価】		5,601,539
期首棚卸高	516,096	
仕入高	5,654,976	
合計	6,171,072	
期末棚卸高	569,533	
売上総利益		47,614,156
【販売費及び一般管理費】		41,638,383
営業利益		5,975,773
【営業外収益】		7,408
受取利息	138	
受取配当金	600	
雑収入	6,670	
【営業外費用】		1,190,870
支払利息	1,189,680	
雑損失	1,190	
経常利益		4,792,311
【特別利益】		5,000
貸倒引当金戻入	5,000	
税引前当期純利益		4,797,311
法人税等充当額		211,000
当期純利益		4,586,311

販売費及び一般管理費内訳書

株式会社 北前館

自 平成 30 年 10 月 1 日

至 令和 元年 9 月 30 日

科 目	金 額	
		円
給 与 ・ 手 当	13,247,116	
広 告 宣 伝 費	609,471	
発 送 配 達 費	63,974	
役 員 報 酬	470,000	
法 定 福 利 費	1,003,937	
福 利 厚 生 費	221,214	
減 価 償 却 費	1,425,565	
賃 借 料	309,191	
修 繕 費	295,698	
事 務 用 消 耗 品 費	134,411	
通 信 交 通 費	1,299,337	
水 道 光 熱 費	12,315,673	
租 税 公 課	1,975,425	
会 費 負 担 金	529,800	
接 待 交 際 費	147,321	
保 険 料	850,036	
備 品 ・ 消 耗 品 費	1,726,356	
支 払 手 数 料	2,956,991	
車 両 関 係 費	668,408	
リ ー 入 料 費	305,725	
雑 費	1,082,734	
合 計		41,638,383

棚卸資産の計算内訳

株式会社 北前館

令和 元年 9 月 30 日現在

科 目	金 額	
		円
商 品	569,533	
貯 蔵 品	293,653	
合 計		863,186

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

自 平成 30 年 10 月 1 日
至 令和 元年 9 月 30 日
(単位：円)

株式会社 北前館

	株主資本								新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計	評価・換算 差額等合計		
		資本準備金	他資本剰余金	資本準備金	他利益剰余金					
当期首残高	25,000,000				800,000	△51,918,505	△26,118,505		△26,118,505	
当期変動額										
剰余金の内訳科目間の振替										
剰余金の配当										
当期純利益						4,586,311			4,586,311	
当期変動額合計						4,586,311			4,586,311	
当期末残高	25,000,000				800,000	△47,332,194	△21,532,194		△21,532,194	

	利益剰余金の内訳					利益剰余金 合計
	利益準備金	退職給付 積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計	
当期首残高	800,000			△51,918,505	△51,118,505	
当期変動額						
剰余金の内訳科目間の振替						
剰余金の配当						
当期純利益				4,586,311	4,586,311	
当期変動額合計				4,586,311	4,586,311	
当期末残高	800,000			△47,332,194	△46,532,194	

個別注記表

株式会社 北前館

自 平成 30 年 10 月 1 日

至 令和 元年 9 月 30 日

- 1 この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。
- 2 重要な会計方針に係る事項に関する注記
 - (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法による原価法を採用しています。
 - (2) 固定資産の減価償却方法
 - ア リース資産
定額法を採用しています。
 - イ 有形固定資産
定額法又は旧定額法を採用しています。
なお、一括償却資産については、3年均等償却を採用しています。
 - ウ 無形固定資産
定額法又は旧定額法を採用しています。
 - (3) 引当金の計上基準
 - ア 貸倒引当金
債権の貸倒損失に備えるため、法人税法に規定する法定繰入率により計算した回収不能見込み額を計上しています。
 - (4) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式を採用しています。
- 3 貸借対照表等に関する注記
 - (1) 有形固定資産の減価償却累計額 19,878,799 円
- 4 株主資本等変動計算書に関する注記
 - (1) 発行済株式総数 500 株
- 5 一株当たり情報に関する注記
 - (1) 一株当たり純資産額は、△43,064.38 円です。
 - (2) 一株当たり当期純利益は、9,172.62 円です。

監 査 報 告 書

1 監査対象期間（第 28 期）

自 平成 30 年 10 月 1 日
至 令和元年 9 月 30 日

2 監査概要

私たち監査役は、株式会社北前館の第 28 期の営業年度における経営状況について、令和元年 10 月 18 日代表取締役太田垣健作より提出された貸借対照表、損益計算書及び収支証拠書類並びにこれらに付帯する関係補助簿について照合精査いたしました。なお、この度の監査において監査場所は株式会社北前館、監査立会人は、代表取締役太田垣健作でした。

3 監査結果

- (1) 会計全般にわたり、関係帳簿と照合精査した結果、会計帳簿の記載金額と一致し財産目録、貸借対照表及び損益計算書は、株式会社北前館の損益の状況を正しく表示していると認めます。
- (2) 取締役の職務遂行に関する不正行為又は、定款に違反する事実はないと認めます。

4 監査意見書

私たち監査役は、毎月の役員会に出席して取締役の経営検討執行状況及び、日々の従業員の勤務状況も確認してきました。

レストラン部門の委託により経常利益は 4, 792 千円となりましたが、レストラン部門を除く温泉を初め全体の総売り上げは 52, 159 千円であり、過去 10 年間の平均である 55, 225 千円より少なくなりました。

今後も売上高の拡大を図ると共に、社内の就業規則、賃金規定などにも配慮し従業員が健康で生き生きと働けるようにすること、また会社の健全な成長のために取締役及び従業員全員が一丸となり、株主や地元の協力、声援を受けられるよう、さらに努力をされることを切に望みます。

令和元年 10 月 18 日

監査役 太田垣 征 司
監査役 瀧 下 貴 也

株式会社 北 前 館
代表取締役 太田垣 健 作 殿

株式会社北前館第 29 期事業計画及び収支計画

1 事業計画

大胆な経営改革から 2 年目を迎え、着実な収益向上を目指し、役職員一丸となって各部門の事業を展開して参ります。

温泉部門では、気持ちよく入浴して頂けるよう施設の維持に努めるとともに、日本海を一望できる「絶景温泉」として PR にも力を入れ、利用者増を図ります。

特産品部門では、引き続き「人気商品」を順位付けし、お客様が買い物をしやすいよう配慮するとともに、商品内容を検討し、地元の商品を前面に出しながら売上増に努めます。

ジオカヌーでは、ホームページでの一層の PR に努め、城崎温泉や神鍋高原との連携を進め、利用者の増加を図ります。

浜茶屋が減っていく中、コインロッカーを設置して海水浴客の皆様の利便性を高め一人でも多くの方が北前館に立ち寄って頂けるよう努めます。

受託業務では「かぜまちミュージアム」の管理運営を通じて北前船文化の伝承や竹野の魅力を発信するとともに、ジオパークの中核施設として市内小中学生のジオ学習の場としての機能を発揮して参ります。

今後とも北前館が地域の核となれるよう第 29 期の運営を進めて参りますので株主の皆様を初め地域の皆様にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

予 定 損 益 計 算 書

株式会社 北前館

自 令和 元年 10 月 1 日
至 令和 2 年 9 月 30 日

科 目	金 額	
(営業損益の部)		千円
【売 上 高】		58,500
温泉浴場売上高	20,000	
特産品店売上高	10,000	
受 託 料	9,300	
駐 車 場 整 理 料	9,700	
ジオカヌー利用料	6,000	
そ の 他	3,500	
【売 上 原 価】		6,372
期 首 棚 卸 高	569	
仕 入 高	6,430	
合 計	6,999	
期 末 棚 卸 高	627	
売 上 総 利 益		52,128
【販売費及び一般管理費】		45,358
営 業 利 益		6,770
(営業外損益の部)		
【営 業 外 収 益】		3
受 取 利 息	1	
受 取 配 当 金	1	
雑 収 入	1	
【営 業 外 費 用】		1,673
支 払 利 息	1,673	
経 常 利 益		5,100

販売費及び一般管理費内訳書

株式会社 北前館

自 令和 元年 10月 1日

至 令和 2年 9月 30日

科 目	金 額	
		千円
給 与 ・ 手 当	14,580	
広 告 宣 伝 費	700	
発 送 配 達 費	80	
役 員 報 酬	830	
法 定 福 利 費	1,190	
福 利 厚 生 費	250	
減 価 償 却 費	1,400	
賃 借 料	310	
修 繕 費	590	
事 務 用 消 耗 品 費	240	
通 信 交 通 費	1,390	
水 道 光 熱 費	12,900	
租 税 公 課	2,270	
会 費 負 担 金	540	
接 待 交 際 費	140	
保 險 料	740	
備 品 ・ 消 耗 品 費	1,790	
支 払 手 数 料	3,690	
車 両 関 係 費	270	
リ ー ス 料	330	
雑 費	1,128	
合 計		45,358